

試合番号 : 779		試合会場 : 猫田記念体育館		観客数 : 550	
開始時間 : 11:00		終了時間 : 12:46		試合時間 : 01:46	
主審 : 平田 敬基		副審 : 谷川 哲也			
ブレスタージ・インターナショナルアランマーレ 通算 11勝 10敗 ポイント : 30		25 第1セット 23 25 第2セット 18 18 第3セット 25 25 第4セット 21 第5セット		ルートインホテルズプリリアントアリーズ 通算 11勝 9敗 ポイント : 30	
監督コメント 最終戦となり、また勝ち越しをかけた試合でスタートから相手の高さありブロック、攻撃にバタついたがそれを上回るディフェンスでリズムを取り戻した。また中盤からサーブが走り、途中出場の選手が活躍したのも大きかった。今日は全員バレーで勝った試合であり、来シーズンに繋がる試合でもあった。長いシーズン、多くのご声援をいただきありがとうございます。チーム一同、お礼申し上げます。		3		監督コメント この最終週は、絶対に負けられない戦でしたが、最後はアランマーレさんの攻撃に対して、ブロックの締めが甘くなり、こちらにリズムがある場合でもブロックのこぼしが多かった。いよいよ明日で最終戦です。悔いの残らぬ様、チーム一丸となり戦いたいと思います。皆様のご声援ありがとうございました。	
要約レポート チャレンジマッチ出場を目指すブレスタージ・インターナショナルアランマーレとルートインホテルズプリリアントアリーズの一戦。第1セット、序盤ルートインは岸村のブロックなどで優位に試合を進めていったが、終盤にアランマーレは、木村の攻撃で流れを掴むとここから、宮本のブロックで同点に追いつき、最後は、柳沢がアタックを決めてセットを先取した。第2セット、第1セットの勢いそのままに序盤からアランマーレがリードする展開となった。ルートインは、宮本のブロックや村山の効果的なサーブで崩し点差を縮めて粘りを見せたが、アランマーレの途中出場の藤原のアタックで、5連続得点を上げて一気に突き放し、セットを連取した。第3セット、後がないルートインは、平野、岸村のアタックなどでリードを広げ優位に進めていく。アランマーレも江川の絶妙なアタックで追いついたが、ルートインがセットを奪い返した。第4セット、序盤から一進一退の攻防が続いた。中盤にアランマーレが柳沢のブロックで流れを掴み、伊藤のブロックやサービスエースで得点を重ねた。ルートインは、終盤にも平野がアタック、ブロックで追いついたが及ばず、アランマーレが最終戦を勝利で飾った。					

試合番号 : 780		試合会場 : 猫田記念体育館		観客数 : 650	
開始時間 : 13:25		終了時間 : 15:30		試合時間 : 02:05	
主審 : 弘中 秀治		副審 : 近藤 宏顕			
GSS東京サンビームズ 通算 11勝 9敗 ポイント : 35		20 第1セット 25 20 第2セット 25 25 第3セット 17 25 第4セット 17 15 第5セット 12		ブレス浜松 通算 5勝 16敗 ポイント : 19	
監督コメント 第1セット、第2セット共にブレス浜松さんの攻めに翻弄されて自分たちのバレーが出来ませんでしたが、第3セット以降に主力選手の当たりが戻ってきて、辛うじて勝利する事が出来ました。今日のゲームは、とにかく勝利する事が上位へ残る必須条件でしたので、最後まで勝利を信じて戦った選手を称えたいと思います。一緒になって戦ってくれたファンの皆様にご心より感謝申し上げます。		3		監督コメント たくさんの応援ありがとうございました。今シーズン最後の試合、チームがどんな状況でも精一杯応援して下さる方々の為、気持ちを込めて挑みました。2セットを先取してしながら、勝ちに繋がらず、すごく悔しいです。これがチームの実力、しっかり受け止めて次のシーズンに繋げていきたいです。11月から始まったリーグ戦を最後まで、本当にたくさんの応援ありがとうございました。	
要約レポート チャレンジマッチ出場には、負けられないGSS東京サンビームズと最終戦を勝利で締めくくりたいブレス浜松の一戦。第1セット、序盤から両者譲らない一進一退の攻防が続いたが、中盤に浜松が多田のアタックや浅野のブロックで流れを掴んだ。さらに水上がアタックで3連続得点をあげてセットを先取した。第2セット、浜松が第1セットの勢いそのままに、浅野にボールを集めて3連続得点をあげた。GSS東京は、色摩を中心に流れを引き戻そうと粘りを見せたが、最後は浜松の多田がアタックを決めて連取した。第3セット、浜松が水上、島原のアタックでリードを広げていくかと思われた。しかし、GSS東京の塚原がブロックを決めるとリズムに乗り逆転し、中盤に張のアタックやブロックでリードを広げた。最後は色摩に代わって入ったリリーフサーバー西條がサービスエースを決めてセットを奪い返した。第4セット、序盤にGSS東京が張の効果的なサーブで崩し、吉里のアタックで主導権を握った。浜松は、終盤に多田から中野に代え、アタックなどで粘りを見せるも、最後はGSS東京の山本がフェイントを決めてフルセットに持ち込んだ。第5セット、GSS東京が松浦の好レシーブから色摩のアタックでリードした。浜松は、中野のアタックが連続で決まり、譲らない展開となった。ここからGSS東京が吉里、張のアタックなどで3連続得点を上げてリードを広げた。浜松も中野のアタックで粘りを見せたが、最後はGSS東京の吉里がフェイントを決めて、勝利した。					

試合番号 : 781		試合会場 : 猫田記念体育館		観客数 : 910	
開始時間 : 16:10		終了時間 : 17:29		試合時間 : 01:19	
主審 : 島田 香		副審 : 熊本 結			
大野石油広島オイラーズ 通算 8勝 12敗 ポイント : 23		25 第1セット 23 25 第2セット 19 25 第3セット 19 第4セット 第5セット		柏エンゼルクロス 通算 7勝 13敗 ポイント : 22	
監督コメント 本日もご声援ありがとうございました。本日の試合では、サーブで相手を崩して、いい流れで試合を進める事ができました。最後まで粘り強いバレーをする事ができ、勝利する事ができました。残り1試合も全力で頑張りますので、引き続き応援よろしく申し上げます。		3		監督コメント ホームゲームチームを相手に自分達のやるべき形を展開しなければならぬ場面で、自分達が先にミスを出してしまう事が多く、リズムに乗る事ができなかった。明日のラストゲームに向けて、もう一度気持ちを入れ替えて臨みたいと思います。本日もたくさんの応援ありがとうございました。	
要約レポート 第1セット、終始お互い譲らない展開となった。大野石油広島オイラーズ西田、山内、北川のアタックに対し、柏エンゼルクロスは木村、石川、徳石のアタックで応戦した。終盤に大野石油が北川のアタックで、粘る柏を振り切り、セットを先取した。第2セット、序盤から第1セットの勢いそのままに、大野石油が西田のブロックをきっかけに北川、中田のアタックでリードを広げた。柏は、松原、岡村に代えてアタックなどで応戦し、流れを引き戻そうとしたが届かず、最後は大野石油の山内がサービスエースを決めて連取した。第3セット、中盤まで一進一退の攻防が続いた。ここから大野石油が山内、中田がアタックを決めてリードを徐々に広げていった。柏は、名原の華麗なトスワークから木村のアタックで粘りを見せたが、最後は大野石油の山内がアタックを決めて、ホームの大声援を背に勝利で飾った。					

試合番号 :		試合会場 :		観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :	
主審 :		副審 :			
通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		監督コメント	
		第3セット			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート					